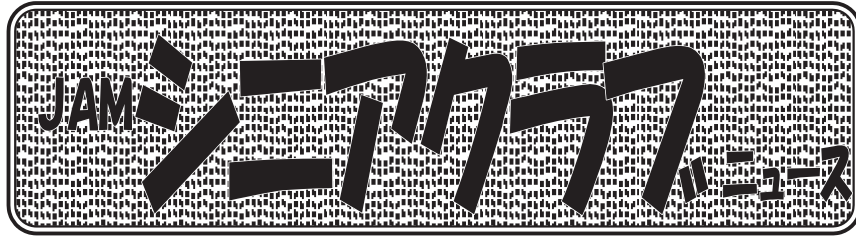


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第125号

発行日 2018年1月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

政府にももの申す退職者連合 医療・介護制度学習会 産別組織と地方代表90人参加

政府は超高齢化社会にふさわしい社会保障制度づくりを加速させることが重要だと、2018年度予算編成の焦点となっている診療報酬と介護報酬を6年ぶりに同時改定する。これに対応し、退職者連合は、11月29日、連合会館で「医療保険制度・介護保険制度に関する学習会」を開催した。学習会には各産別の退職者組織を中心に全国から約90人が参加した。

実効性に問題点を抱える地域包括ケアシステム

退職者連合の人見一夫会長は、主催者を代表して「医療・介護制

度はなくてはならない制度であり、守っていかねければならない。来年度の制度改定に向けて検討している政府にしっかりともの申し

ていく」と挨拶。また、川端邦彦退職者連合政

策委員長は、「昨年は学習会を3回開催した。退職者連合としての運動づくりには、まず事

実がどのように進行しているかを正しく知る

ことだ。次の運動につながるためにも共通の理解が必要」と学習会の狙いを述べ、その上で、

「要望項目を政府と話している段階だが、政府内には社会保障と成長をめぐって深刻な論争がある」とも語った。

学習会では厚生労働省・木本和伸課長補佐が「団塊世代が75歳以上になる2025年を目途に、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、

医療・介護・予防・住まい・生活支援をどのようにつなげていくか」をテーマに講演。医療・介護を取り巻く状況と課題への対応を柱に「人生100年時代」を見据えた社会の実現に向けて、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる地域包括ケアシステムの構築と制度の安定性・持続可能性の確保、医療・介護現場の新たな働き方について検討している」と説明。

迎春にあたり、シニアクラブへのご参加、ご協力に感謝申し上げます。

2月には平昌冬季五輪があり、次は東京五輪へと東アジアで五輪が引き継がれます。東京を「平和の祭典」として迎えるための最初の年としましょう。安倍政権は、敵基地攻撃が可能な長距離巡航ミサイル導入を来年度予算に計上し、ヘリ搭載型護衛艦を空母へ改修する検討など装備の面からも専守防衛の枠を逸脱し、今年の国会で改憲発議を行うとしています。安全保障関連法の自衛隊を憲法

崩壊させる改憲発議は絶対に許せません。崩壊させる改憲発議は絶対に許せません。崩壊させる改憲発議は絶対に許せません。崩壊させる改憲発議は絶対に許せません。

「田中ひさや」必勝体制づくり

1万人目標に8千人台回復へ

JAMシニア会員 大山 勝也

Mは副会長「田中ひさや」組織内予定候補者の必勝体制づくりに取り組んでいます。シニアクラブは「田中ひさや」組織内

主張



9条による専守防衛の枠を崩壊させるものです。専守防衛の枠を崩壊させるものです。専守防衛の枠を崩壊させるものです。専守防衛の枠を崩壊させるものです。

医療・介護・予防・住まい・生活支援をどのようにつなげていくか」をテーマに講演。医療・介護を取り巻く状況と課題への対応を柱に「人生100年時代」を見据えた社会の実現に向けて、どこに住んでいても適切な医療・介護を安心して受けられる地域包括ケアシステムの構築と制度の安定性・持続可能性の確保、医療・介護現場の新たな働き方について検討している」と説明。

愛 媛

旅行をはじめ多様な行事 今秋には現役との懇親を予定

事務局長 藤井正剛通信員



愛媛シニアクラブ独自の行事は、財政事情から総会・懇親会だけのため、井関農機と川

之江造機退職者組織の年間行事を紹介する。井関退職者の会では、定期総会・懇親会のほか、(1)日帰りの研修旅行(2)歩こう会(3)セミナー・忘年会があり、更にサークル活動の①カラオケ部会(年6回)、②I S E K Iアートクラブ(絵画、書、写真、陶芸、版画、紙芝居、工芸)が行われている。今回は紙面の関係で

(1)と(2)を掲載、先ず、行先・日程等を幹事会で協議し、高齢者に負担の少ない近県を選んで全会員に往復はがきで参加を募って実施。3年前までは秋に1泊旅行、日帰りは春にしていたが参加者の減少で春に絞った。因みに今年には香川県「引田の町並み」を訪ねて37人(写真)が参加した。(2)は、井関農機創立者の墓参、当年度物故者の法要、石手川公園までの歩こう会で、昼に公園で弁当とアルコール少々、談笑程度だが、参加者

はいつも70人以上となり盛会に行われている。川之江造機OB会の独自行事は年1回の親睦旅行(旅行社ツアーを利用)。昨年は参加予定人員を15人見込み計画を進めたものの11人の参加となった。目標人員には届かなかったが、1泊2日山口県にある秋吉台・秋芳洞、青生島、萩市内の名所を廻った。参加者が身内ばかりだったので、ツアー旅行と違った雰囲気の良い旅行であった。参加者からは、次回もOB会だけの旅行を希望する声



と、さらに衆議院選挙の感想も。二日目は世界遺産の「葦山反射炉」、重要文化財の「江川邸」、「沼津港深海水族館」をそれぞれ見学。昼食は、「浜焼きしんちゃん」で新鮮な魚貝を炭火で焼いていただき、ビールもたくさん飲み、帰りはまた沼津駅と三島駅に送迎。このようにJR利用の旅行もなかなかいいものだと感じた2日間でした

報告や雑談などで楽しい交流が出来、今後のOB会活動の強化、会員拡大に繋がるものと期待している。張感で対戦ができることと成績が良ければ表彰してもらえらることも、常連の参加者はこの大会を楽しみにしていると言う意見が多く、今年も行事を継続することを決めた。 囲碁・将棋は10月12日(木)に京都労働者総合会館で10時から開催、囲碁はAクラス(3段以上)5人、Bクラス(2段以下)6人の参加、将棋は10人の参加で熱戦を展開。 囲碁Aクラスは栃原巧一さん(島津)、Bクラスは岡田正夫さん(島津)、将棋は磯谷弘之さん(島津)が優勝した。 麻雀大会は11月16日に島津紫明荘にて開催、10時から20人が参加、木田茂さんが参加、木田茂さんが優勝。合計41人の参加者には、適度の緊張感とともに1日楽しんでいただ

岡 静

秋の親睦旅行 世界遺産の「葦山反射炉」へ

二村 政司通信員

JAM静岡定年退職者OB会(シニアクラブ、会長・新聞貞夫)は、10月26~27日(木・金)に秋の親睦旅行を行い、今年は趣向を替えて参加者が14人(うち女性2人)と例年より大幅に増えた。

ポイントは、静岡県は東西に長いため、毎年行っていたマイクログバスでは参加者を集約していく時間が非常にかかること、マイクログバスの定員まで集まらないという欠点があった。今回は、JR東海の新幹線を使って三島駅に集まり、そこからマイクログバスを利用することでこの欠点を克服



服。しかし、この場合の難点は電車が早くかかることですが、OB会からの補助を出して対応した。一日目は、三島駅にゆっくり集合15時30分、そこから伊豆長岡の「おおとり荘」に宿泊。温泉露天風呂にカラオケとゆっくり懇親、1年ぶりの旅行のため話しが弾むこと、弾むこと。昔の組合活動のこと、自分の健康のこ

と、さらに衆議院選挙の感想も。二日目は世界遺産の「葦山反射炉」、重要文化財の「江川邸」、「沼津港深海水族館」をそれぞれ見学。昼食は、「浜焼きしんちゃん」で新鮮な魚貝を炭火で焼いていただき、ビールもたくさん飲み、帰りはまた沼津駅と三島駅に送迎。このようにJR利用の旅行もなかなかいいものだと感じた2日間でした



報告や雑談などで楽しい交流が出来、今後のOB会活動の強化、会員拡大に繋がるものと期待している。張感で対戦ができることと成績が良ければ表彰してもらえらることも、常連の参加者はこの大会を楽しみにしていると言う意見が多く、今年も行事を継続することを決めた。 囲碁・将棋は10月12日(木)に京都労働者総合会館で10時から開催、囲碁はAクラス(3段以上)5人、Bクラス(2段以下)6人の参加、将棋は10人の参加で熱戦を展開。 囲碁Aクラスは栃原巧一さん(島津)、Bクラスは岡田正夫さん(島津)、将棋は磯谷弘之さん(島津)が優勝した。 麻雀大会は11月16日に島津紫明荘にて開催、10時から20人が参加、木田茂さんが参加、木田茂さんが優勝。合計41人の参加者には、適度の緊張感とともに1日楽しんでいただ